

成年後見楽しく紹介

NPO法人、区民祭り出店 保土ヶ谷

横浜

認知症や障害が不十分な人の権利を守る活動をしている認定NPO法人「よこはま成年後見つばさ」(横浜市保土ヶ谷区、須田幸隆理事長)が14日、同区の県立保土ヶ谷公園で開かれた「区制90周年記念

ほどがや区民まつり」に初出店した。つばさの法人後見を利用する障害者らがプース運営に携わり、祭りを楽しんだ。

つばさは、成年後見制度の後見人などを、組織として受任する法人後見を行っている。2011年10月の設立以来、延べ50件以上を受任した。

区民まつりへの出店は、法人後見のアピールのほか、利用当事者に社会参加の達成感や人々との交流を



楽しんでもらおうと、初めて取り組んだ。利用当事者のうち、認知症高齢者、障害者の7人が、スタッフ、家族、ボランティアら約20人とともにプース運営を行った。

プースでは、子どもたち向けに風車の手作りコーナーを設けたほか、法人後見のメリットを説明するパンフレットなどを配布。7人は担当スタッフ「つばさ」の園

「つばさ」の園

フとともに、プース運営を助けたり、会場内の模擬店巡りやステージ鑑賞を楽しんだりした。「子どもたちが賢くて驚いた。楽しい気分

分になれた」「お祭りを見るのは久しぶり。とても楽しかった」と満喫した様子だった。

(熊谷 和夫)

古都の海魅力体感

きょうまでスポーツフェア

鎌倉

鎌倉の海の魅力を知らせてもらって機運の盛り上げも図る。

おとうと、「鎌倉マリンスポーツフェア2017」が14日、鎌倉市の由比ヶ浜海岸で始まった。ときどき小雨が降るなか、市民らがさまざまな海のスポーツを体験した。15日まで。

マリンスポーツの普及や地域活性化を目指し、市が初めて主催。各競技の関係団体が協力し、サーリング競技が江の島で開催される

上で立ち上がる練習を繰り返した。大木を彫ってつくったハワイアンアウトリカ